

9月1日は防災の日です。  
災害を知り、備えましょう。



7月30日、中央消防署赤坂分署で、洪水や集中豪雨などに備え、消防局と消防団員が水防訓練を行いました。北消防署白川分署・小林卓史隊員「集中豪雨などでは、20ミから30ミの雨でも市街地は冠水する場合も。冠水すると水位10センチ程度でも歩行が困難になり、車のブレーキが利きにくくなります。避難にも注意が必要です」この日行ったのは、土のうやせき板を使い、水災害の被害を軽減する水防工法の訓練。前橋建設業協会も参加し、重機を使う本格的なもの。夏の大雨や強風は私たちの暮らしに何度も被害を与えています。総合防災マップなどで自分の住んでいる地域の危険箇所や対策を事前に知り、特に夏の時はテレビやラジオ、まちな安全ツイッター(@maebashi\_anzen)などで気象情報を確認してください。

## 総合防災マップも改定します 浸水想定区域を見直し

図危機管理室 ☎027・8998・5935

先月発生した九州北部豪雨や一昨年の関東・東北豪雨のように、観測史上を上回る大規模な自然災害が全国で多発しています。これらを踏まえ、国は水防法を改正し、洪水が及ぶ浸水想定区域を「想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水区域」に見直し。河川管理者である県（県河川課☎027・226・3617、前橋土木事務所☎027・234・4228）が図面を公表しました。洪水浸水想定区域に指定されることになった町は下表のとおりです。本市ではこの指定を基に、総合防災マップなどを改定する予定です。

### 防災ラジオの試験放送

関東大震災が発生した9月1日（金）に防災ラジオの試験放送を実施。当日はラジオの起動試験として、ラジオを緊急起動させてテスト放送を行います。実際の災害と間違わないように注意してください。

### 想定し得る最大規模の降雨時の各河川の浸水想定区域

河川名	浸水想定区域（※ 浸水深が3mを超える場所があります）
利根川	田口町、関根町※、関根町一～三丁目※、荒牧町、荒牧町一～四丁目、川原町※、川原町一・二丁目※、上小出町一～三丁目、下小出町二丁目、岩神町一～四丁目※、敷島町※、緑が丘町※、昭和町一～三丁目、国領町一・二丁目、平和町一・二丁目、住吉町一・二丁目、大手町三丁目※、千代田町二・三丁目、城東町一～五丁目、南町一・二・四丁目、六供町、六供町一・四丁目、天川原町一・二丁目、朝倉町、後閑町、棚島町、上佐鳥町、下佐鳥町、宮地町※、東善町、西善町、中内町、公田町※、横手町※、下川町※、鶴光路町、亀里町※、新堀町※、下阿内町※、房丸町※、徳丸町※、力丸町※、駒形町、小相木町、小相木町一丁目、光が丘町、朝日が丘町※、上新田町※、下新田町※、後家町、箱田町、大利根町一・二丁目、稻荷新田町、川曲町、下石倉町
荒砥川	上増田町※、下増田町※、二之宮町※、今井町、荒口町、富田町、小島田町、筑井町※、富田町、泉沢町、茂木町、大胡町
桃ノ木川	北代田町、若宮町一～四丁目、日吉町一～四丁目、城東町一～五丁目、朝日町一～四丁目、文京町四丁目、天川町、朝倉町四丁目、山王町、山王町一～二丁目、東善町、端気町※、幸塚町、三俣町一～三丁目、東片貝町、西片貝町一～五丁目、上沖町、下沖町、上泉町※、石関町、堀之下町、天川大島町、天川大島町一～三丁目、野中町、上大島町、下大島町、上長磯町、下長磯町、小屋原町、駒形町、筑井町※、東上野町、女屋町※、小島田町、上増田町※、下増田町※、今井町
広瀬川	東善町、山王町二丁目、下大島町、駒形町、小屋原町、上増田町※、下増田町※
赤城白川	青柳町※、龍蔵寺町、北代田町、南橋町、荒牧町、日輪寺町、上細井町、下細井町、幸塚町、上沖町※、富士見町時沢

